

●パリッシユ医療レポート



今まで何でもなかったのに急に手がしびれる。そんな思いをして焦ったことありませんか？そこで今回は、気になる手のしびれの対策について「整形外科はせせべ医院」院長長谷部先生にお話をうかがいました。

手のしびれを放っておかないで！



長谷部 了院長
プロフィール

昭和61年、群馬大学医学部を卒業し群大整形外科教室に入局。手および肘の手術を多数経験する。平成10年「はせべ医院」を開設。日本手の外科学会会員・日本リウマチ財団登録医

「私の知人が最近、右手の中指と薬指のしびれを訴えています。どんな疾病が考えられるのでしょうか？」

長谷部 手のしびれには、多くの原因が考えられます。脳や脊髄などの中枢神経の異常が原因のものとして末梢神経の異常が原因のものに分けられますが、手のひら側で、かつ母指から薬指（正確には薬指の中指側半分）にかけての特徴的なしびれが（図1）ある場合は**「手根管症候群」**と呼ばれる病態である可能性があります。これは正中神経と呼ばれる手の真中を通る神経が靭帯の下で圧迫されること（図2）で発症します。夜間などに強い痛みで起こされることも多いようです。

原因はなんでしょか？
長谷部 はっきりとした原因は不明ですが、手首の使いすぎや妊娠中、お産の後、手首の骨折後などに出現しやすいとされています。

固定するなどの保存治療を行います。しかし、それでも夜などに強い痛みがあったり、母指球筋のふくらみが消えた場合は手術をお勧めします。手術は状況にあった麻酔で行われ、神経を圧迫している靭帯を切除し神経を開放します。また、腱を少し母指の動きをとりもどすことも可能です。

放置するとどうなるのでしょうか？
長谷部 正中神経には手のひらの母指側のふくらみを形成する筋肉（母指球筋）を動かす神経が含まれます。これも圧迫されるとふくらみが消え母指を動かす力が落ち、一生物をつまんだり、つかんだりすることができなくなることもあります。

ほかにどのような手のしびれの病気がありますか？
長谷部 薬指の小指側半分と小指がしびれていれば尺骨神経麻痺が考えられ、また手の甲がしびれていれば橈骨神経麻痺が考えられます。また、手の神経は首（頸椎）から分岐しますが、首の骨の変化や軟骨のつぶれ（ヘルニア）が存在すると神経が圧迫され、手にしびれが出現することも多く認められます。糖尿病などの内科的な病態により神経がいたみ、しびれが生じることもよく知られていることです。

治療法を教えてください。
長谷部 まずは医師の診療を受けましょう。前述の症状のほかに神経の伝わる速度を測定する（図3）ことで、より正確な診断をすることができます。手根管症候群であれば症状が軽い場合は、まず手首を

いすれにせよ早く身近な医師に相談し何が原因なのか調べてもらうことが大切です。

手根管症候群

症状



図1

病態

正中神経が手首（手関節）にある手根管というトンネルで圧迫された状態



図2

検査

測定器による神経伝導速度の検査



図3

早く身近な医師に
相談しよう！

取材協力

手の外科 日曜診療 整形外科 はせべ医院

高崎市井野町983（駐車場50台完備）

TEL.027(361)0177

診療時間
9:00～12:00
15:00～18:00

休診日
木曜午後
金曜、祝日

